

コース概要

循環器内科専攻コース

【プログラムの目的と特色】

循環器疾患および腎疾患の基礎知識・基本的手技に習熟し、さらには心臓カテーテル検査、ペースメーカ植え込み、腎生検などの専門的な知識・手技の習得をめざす。

原則的に当科での専従の研修が主となるが、当院救命センターや消化器内科、呼吸器内科、神経内科とのローテーション研修も可能である。

研修内容については相談の上、できるだけ希望に沿うようにしたい。3年間の後期研修で内科認定医および循環器専門医取得をめざす。



【行動目標】

後期1年次

一般内科的な知識を基礎として循環器・腎疾患の基本的な病態を把握し、的確な診断能力を習得する。心電図、心エコー、トレッドミルテスト、心臓CT、心筋シンチ、腎生検などの諸検査の実施および解釈できるようにする。診断心臓カテーテルの術者、ペースメーカ植え込み術の助手を安全に施行できるようにする。慢性腎臓病の保存的治療・慢性維持透析管理の理解および実施をめざす。学会や研究会での症例発表および論文作成を行う。

後期2年次

経皮的冠動脈形成術やペースメーカ植え込みを術者として安全に施行できるようにする。また、研修医にそれらの基本的手技の指導も行う。さらには救命センター循環器内科での急性心筋梗塞、急性肺塞栓などの循環器救急疾患の診断・治療習得をめざす。学会での臨床研究発表の研究内容を指導医とともに立案する。

後期3年次

循環器内科・腎疾患の初期診断から治療手技まで自力で診断・治療可能とすることをめざす。臨床研修医の指導も行う。学会での臨床研究の発表および論文作成をめざす。

【後期研修医の週間スケジュール例】

	午前	午後
月	ペースメーカ植え込み術	心エコー、トレッドミル、心臓CT 所見
火	初診外来	心臓CT所見
水	心臓カテーテル検査/心筋シンチ	心臓カテーテル検査
木	心エコー/トレッドミルテスト	心臓カテーテル検査
金	心筋シンチ/腎生検	外来

【カンファレンス】

- ・CCU カンファレンス 毎朝
- ・一般病棟カンファレンス(毎週木)
- ・病診連携勉強会 年2-5回

日本循環器学会、日本心臓病学会、日本心血管インターベンション治療学会などの国内学会のみならず、欧州心臓病学会(ESC)、米国心臓病協会(AHA)などの国際学会で当科独自のデータで発表している。これらの学会で発表した内容は論文化している。後期研修医もやる気があれば、日常診療の合間にデータを収集してこれらの学会での発表は可能である。

コース概要

【平成22年治療実績】

術名・検査名	件数
経皮的冠動脈形成術	236
ペースメーカー植え込み術	45
心臓CT	262
心筋シンチ	214
腎生検	51

【指導医】

医師名	役職	医師資格 取得年	所属学会・資格等	専門領域
井上文隆	部長	平 2	日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医、日本心血管インターベンション治療学会認定医、日本高血圧学会指導医、日本救急医学会専門医、日本心臓病学会	循環器一般 インターベンション
丸山直樹	医長	平 7	腎尿路疾患センター副センター長 日本内科学会認定医、日本腎臓病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本透析医学会専門医	腎臓一般
吉本宗平	医長	平 12	日本内科学会認定医、日本腎臓病学会専門医、日本透析学会、日本リウマチ学会、日本循環器学会	腎臓一般
藤本隆富	医長	平 11	救命救急センター兼任 日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医、日本心血管インターベンション治療学会認定医、日本心臓病学会	循環器一般 インターベンション
岡 宏保	医長	平 12	救命救急センター兼任 日本内科学会、日本循環器学会、日本救急医学会専門医、日本心血管インターベンション学会、日本脳卒中学会専門医、日本化学療法学会認定医、日本外傷診療研究機構 JATECインストラクター、日本救急医学会 ICLSインストラクター	循環器一般 インターベンション 救急医療
上嶋運啓	医長	平 14	日本内科学会認定医、日本循環器学会、日本心臓病学会、日本心血管インターベンション治療学会	循環器一般 インターベンション
安 基鉉	医長	平 16	救命救急センター兼任 日本内科学会、日本循環器学会	循環器一般 インターベンション

【取得可能な認定医・専門医】

日本内科学会認定医
日本循環器学会専門医
日本腎臓病学会専門医

【学会認定・施設】

日本内科学会認定医制度教育病院
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設